

# 令和4年度 雪等による労働災害の現状 (令和4年11月～令和5年3月)

令和5年10月  
新潟労働局

## 1 年度別の推移

冬の新潟県内の雪による労働災害(休業4日以上)の死傷者数は、240人となり前年度比3人(1.2%)の減少となっている。

## 2 業種別の内訳

業種別では、「小売業」で51人(21.3%)発生し、うち新聞販売業で18人発生している。次いで、「製造業」で32人(13.3%)、「建設業」で26人(10.8%)となっている。

## 3 事故の型別の発生状況

事故の型別では、「転倒」が189人(78.8%)と最も多く、全体の約8割を占めている。次いで、「墜落・転落」が16人(6.7%)となっている。

## 4 作業別の発生状況

作業別では、雪による災害総数240人のうち32人が除雪作業で被災している。また、住宅の屋根除雪作業で8人が被災しており、そのうち屋根からの墜落災害で6人が被災している。

## 5 月別の発生状況

月別では、「12月」に57人、「1月」に123人、「2月」に56人、「3月」に4人となっている。

## 6 冬季特有の転倒災害の概要

雪による災害総数240人のうち、189人が転倒災害で78.8%を占めており、業種別では、「小売業」で43人(22.8%)と最も多い。次いで、「製造業」と「運輸交通業」が共に27人(14.3%)、「社会福祉施設」が17人(9.0%)などである。

発生場所においては、「駐車場」が64人(33.9%)と最も多く、次いで「通路」が57人(30.2%)となっており、通勤や帰宅の際に車周辺で転倒するなど多発傾向にある。

年齢別では、60歳代以降の転倒災害の発生が約44.4%を占め、身体機能の低下などにより発生リスクが高まることも一因と考える。

また、60歳以上で男女とも発生率は高くなっていることから、転倒すると重症化して休業を余儀なくされるなど療養が長期化するものと考えられる。

※雪等による労働災害には凍結等により転倒等した労働災害も含む。

(参考) 最近の屋根除雪作業指揮者安全教育の実施状況

場 所 (月日)	平成 30 年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	魚沼 (11/19)	上越 (11/20)	魚沼 (11/15)	上越 (11/20)	魚沼 (11/13)	上越 (11/20)	魚沼 (11/11)	上越 (11/25)	魚沼 (11/11)	上越 (11/18)
受講者数	60	21	39	22	30	13	49	37	20	43

(表1) 雪による労働災害発生状況の推移  
(令和4年11月～令和5年3月)

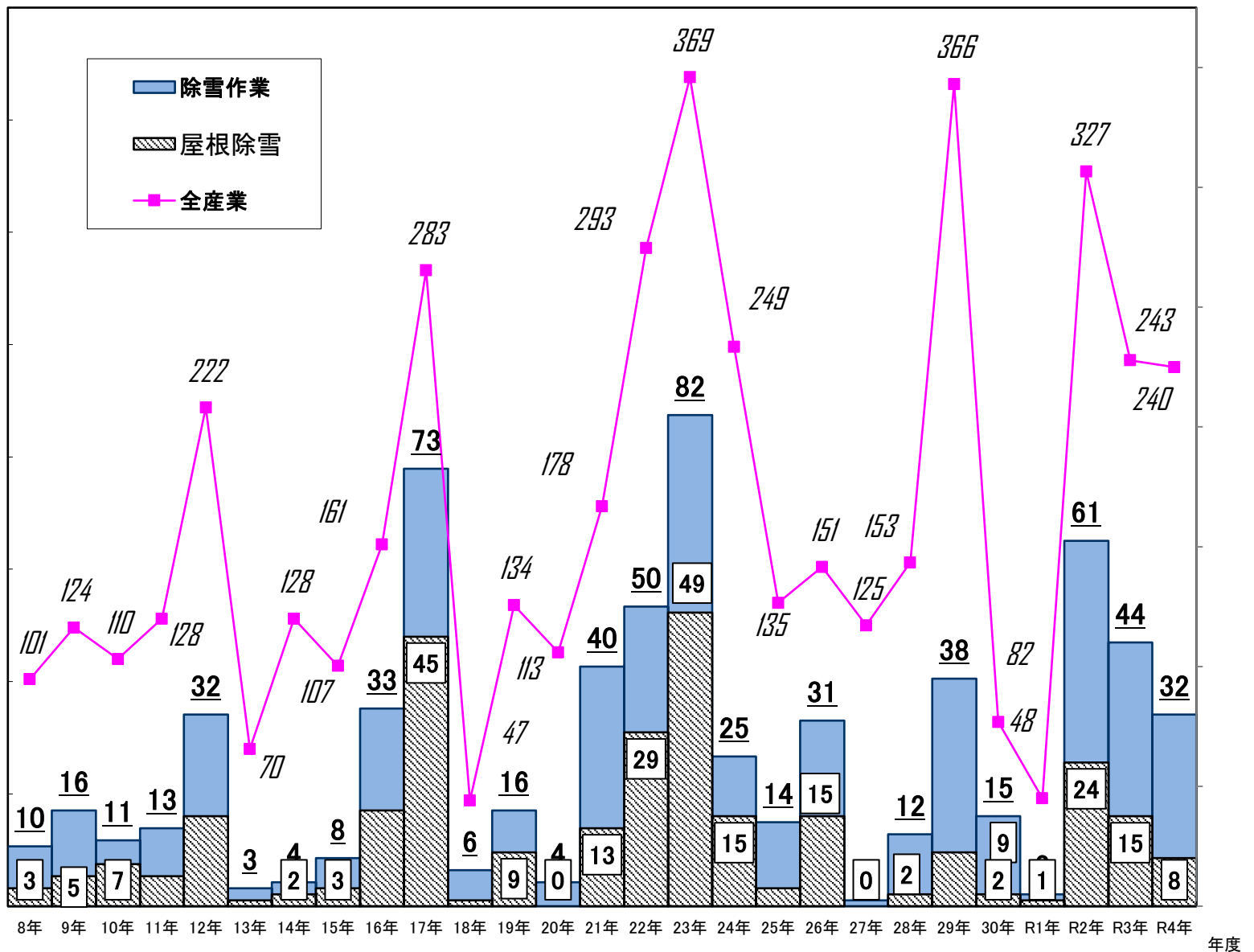
新潟労働局

年別	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
全産業	70	① 128	① 107	② 161	② 283	47	② 134	113	③ 178	④ 293	③ 369
うち除雪作業	3	4	8	② 33	① 73	6	16	4	② 40	① 50	② 82
屋根除雪	1	2	3	16	① 45	1	9	0	① 13	① 29	① 49

年別	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全産業	249	① 135	① 151	① 125	② 153	366	① 82	① 48	① 327	① 243	240
うち除雪作業	25	① 14	① 31	1	12	38	15	2	① 61	① 44	32
屋根除雪	15	3	15	0	2	9	2	1	① 24	① 15	8

(休業4日以上、○内は死亡で内数)

(図1) 雪による労働災害の年度別推移  
(令和4年11月～令和5年3月)



(表2) 雪による死亡労働災害の事例  
(令和4年11月～令和5年3月)

No.	業種	業種発生月	発生状況
1			<発生なし>

(表3) 雪による業種別・事故の型別労働災害発生状況  
(令和4年11月～令和5年3月)

新潟労働局

業種別		署別	新潟	長岡	上越	三条	新発田	新津	小出	十日町	佐渡	合計	割合
業種別	製造業		5	3	2	5	7	4	3	3		32	13.3%
	建設業		4	6	2	3	4	2	3	2		26	10.8%
	道路貨物運送業		5	5	1	2	6	2	1			22	9.2%
	新聞販売業		5	2	4	3	1	1	1		1	18	7.5%
	小売業(除新聞)		9	6	2	3	4	6	2	1		33	13.8%
	社会福祉施設		6	1	3		3		5	4		22	9.2%
	スキー場				1				10	1		12	5.0%
	その他		25	9	9	4	17	3	7	1		75	31.2%
	計		59	32	24	20	42	18	32	12	1	240	100.0%
事故の型別	墜落・転落			2	1	1	2	3	5	2		16	6.7%
	転倒		48	26	20	17	36	15	21	5	1	189	78.8%
	激突		1	2			1					4	1.6%
	激突され		1						3	2		6	2.5%
	巻き込まれ		2	1						1		4	1.6%
	交通事故		3		3	2	3			1		12	5.0%
	その他		4	1					3	1		9	3.8%
	計		59	32	24	20	42	18	32	12	1	240	100.0%

(休業4日以上、( )内は死亡で内数)

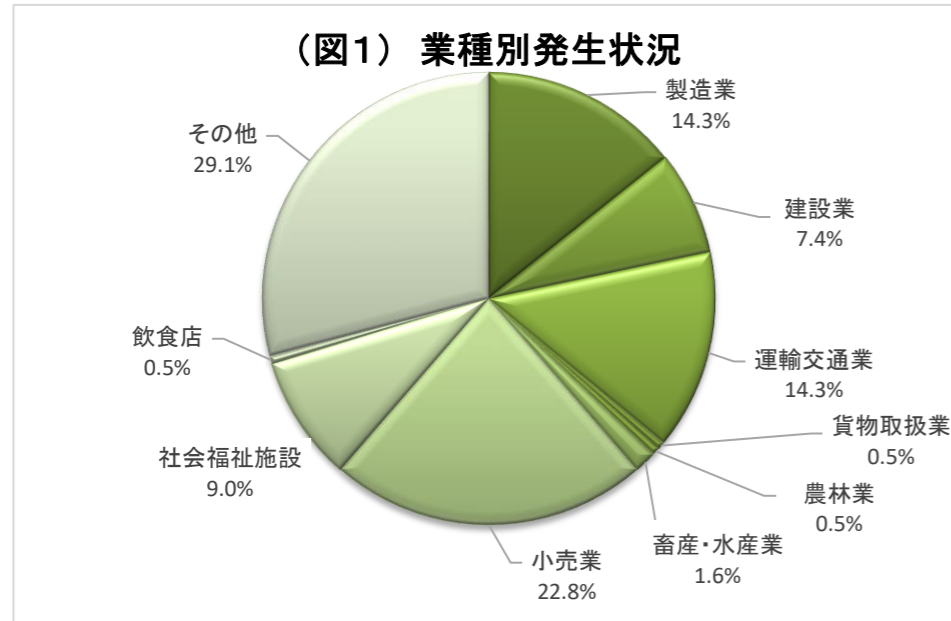
(表4) 令和4年度 冬期の雪による労働災害発生状況  
(令和4年11月～令和5年3月)

区分 署別	11月				12月				1月				2月				3月				合計			
	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落	総数	除雪作業	屋根除雪	内墜落
新潟					16	3			29				14	2							59	5		
長岡					10	6	1		13	1	1	1	9	1							32	8	2	1
上越					7	1			8				9								24	1		
三条					5				10				5								20			
新発田					7	1			26	4	1	1	7	1			2				42	6	1	1
新津					5	2	1	1	10	1	1	1	3								18	3	2	2
小出					3				19	2			8	2	1	1	2				32	4	1	1
十日町					3	1			8	3	2	1	1	1							12	5	2	1
佐渡					1																1			
合計					57	14	2	1	123	11	5	4	56	7	1	1	4				240	32	8	6
増減(%)	-				26.7%				48.2%				-44.6%				0%				-1.2%			
令和3年度					45	6	2	2	83	15	4	3	101	19	8	8	14	4	1	1	243 (1)	44 (1)	15 (1)	14 (1)

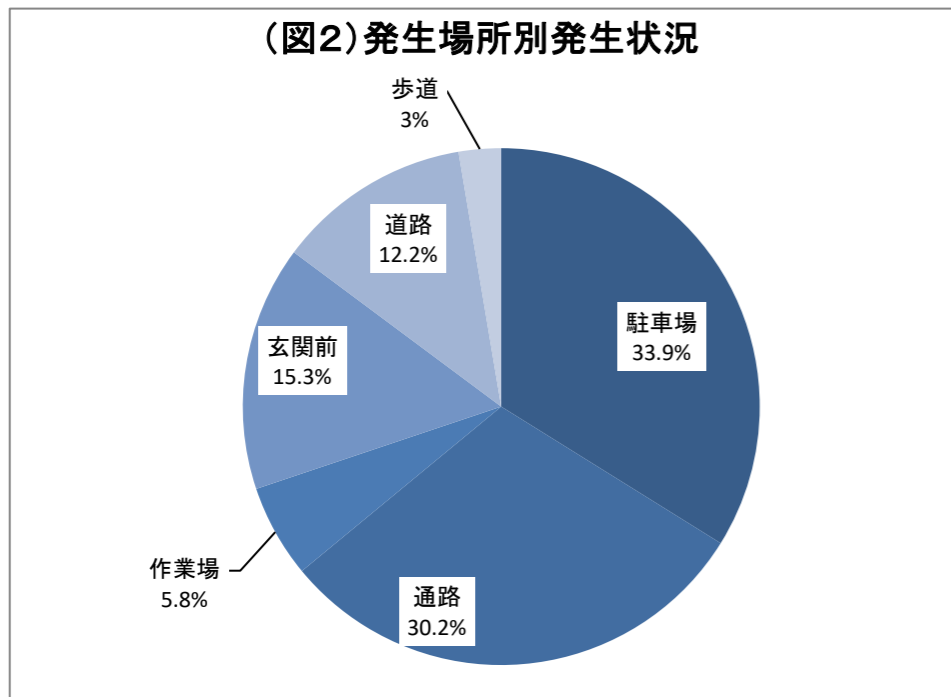
(休業4日以上、( )内は死亡で内数)

## ●冬季特有労働災害の概要(転倒災害)

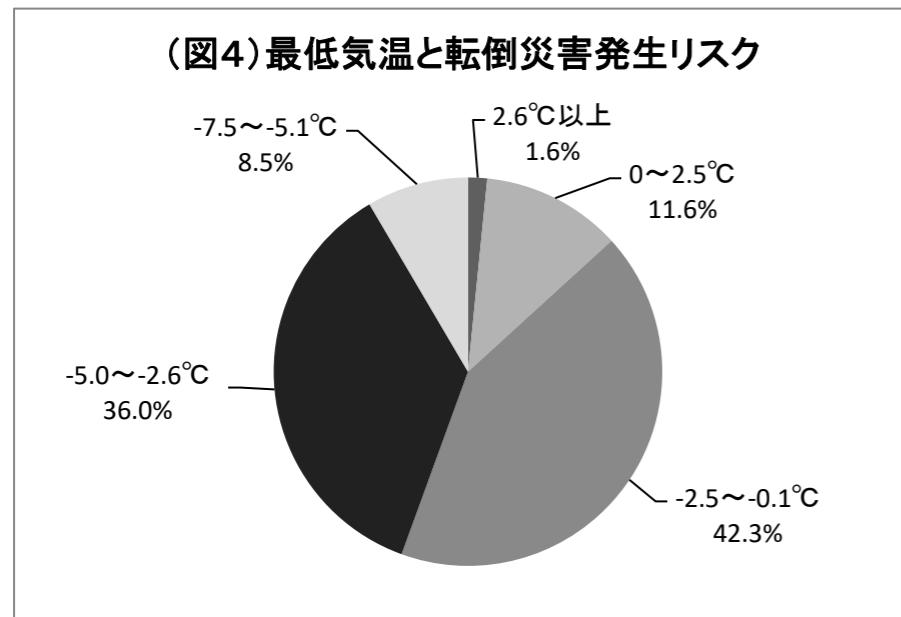
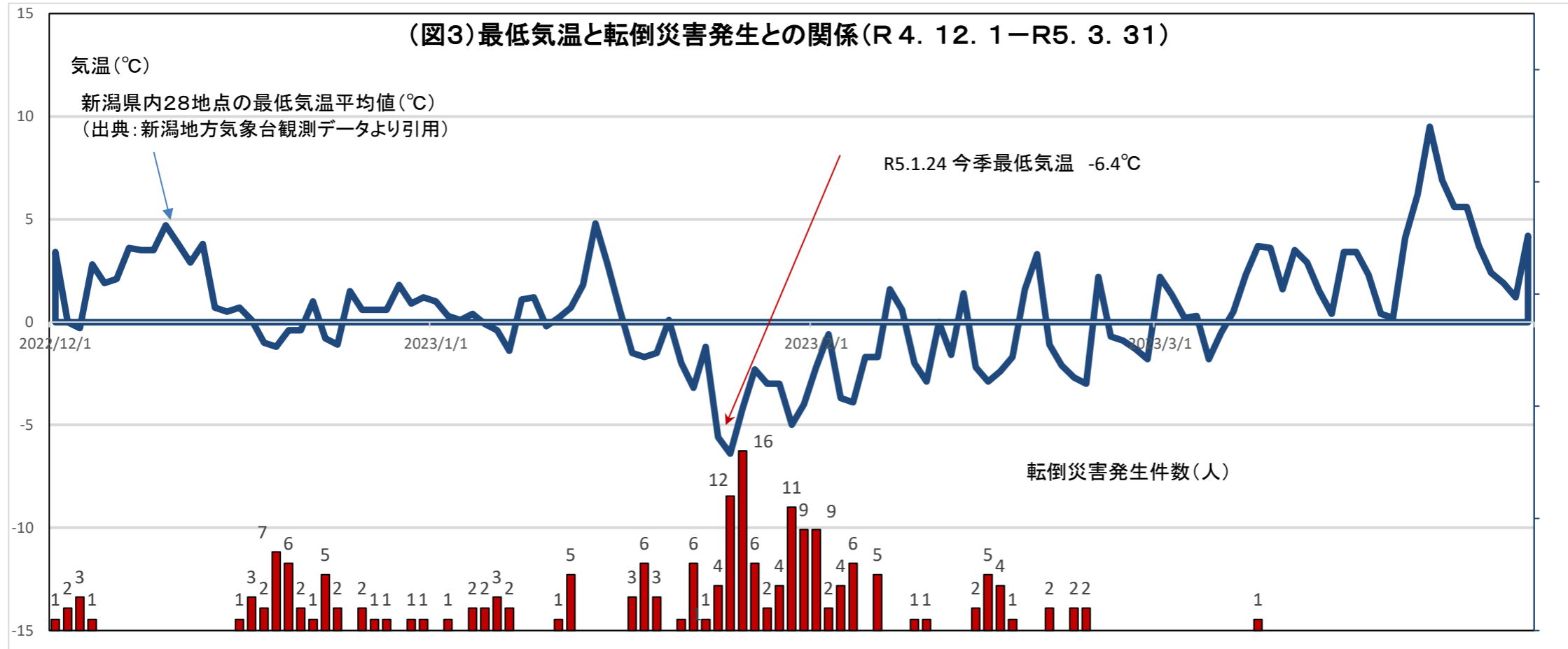
令和5年10月 新潟労働局



業種	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
製造業	22	12.9%	27	14.3%
鉱業	0	0.0%	0	0.0%
建設業	5	2.9%	14	7.4%
運輸交通業	29	17.1%	27	14.3%
貨物取扱業	0	0.0%	1	0.5%
農林業	1	0.6%	1	0.5%
畜産・水産業	2	1.2%	3	1.6%
小売業	42	24.7%	43	22.8%
社会福祉施設	10	5.9%	17	9.0%
飲食店	4	2.4%	1	0.5%
その他	55	32.4%	55	29.1%
計	170	100.0%	189	100.0%



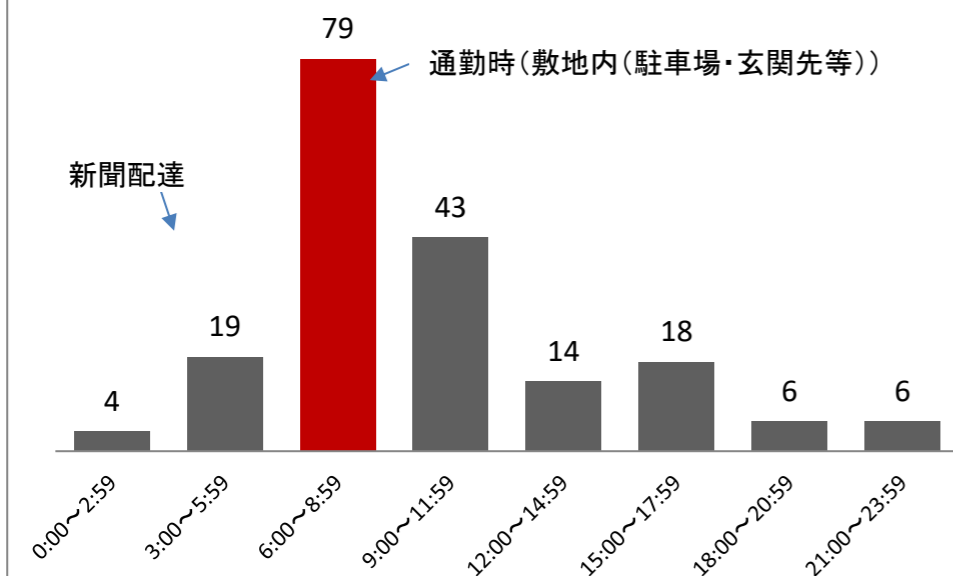
発生場所	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
駐車場	67	39.4%	64	33.9%
通路	29	17.1%	57	30.2%
作業場	27	15.9%	11	5.8%
玄関前	14	8.2%	29	15.3%
道路	28	16.5%	23	12.2%
歩道	5	2.9%	5	2.6%
計	170	100.0%	189	100.0%



気温	令和3年度 (R3.12~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.12~R5.3)	割合
2.6°C以上	1	0.6%	3	1.6%
0~2.5°C	10	5.9%	22	11.6%
-2.5~-0.1°C	115	67.6%	80	42.3%
-5.0~-2.6°C	44	25.9%	68	36.0%
-7.5~-5.1°C	0	0.0%	16	8.5%
-10~-7.6°C	0	0.0%	0	0.0%
-10°C以下	0	0.0%	0	0.0%
計	170	100.0%	189	100.0%

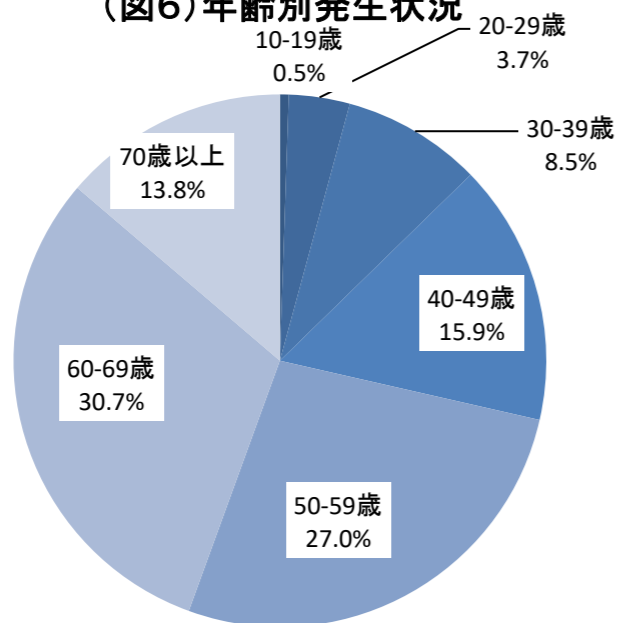
※最低気温は新潟県内28地点の最低気温平均値を引用  
(出典:新潟地方気象台観測データ)

(図5) 時間帯別発生状況



時間帯	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
0:00~2:59	5	2.9%	4	2.1%
3:00~5:59	30	17.6%	19	10.1%
6:00~8:59	53	31.2%	79	41.8%
9:00~11:59	39	22.9%	43	22.8%
12:00~14:59	12	7.1%	14	7.4%
15:00~17:59	15	8.8%	18	9.5%
18:00~20:59	12	7.1%	6	3.2%
21:00~23:59	4	2.4%	6	3.2%
計	170	100.0%	189	100.0%

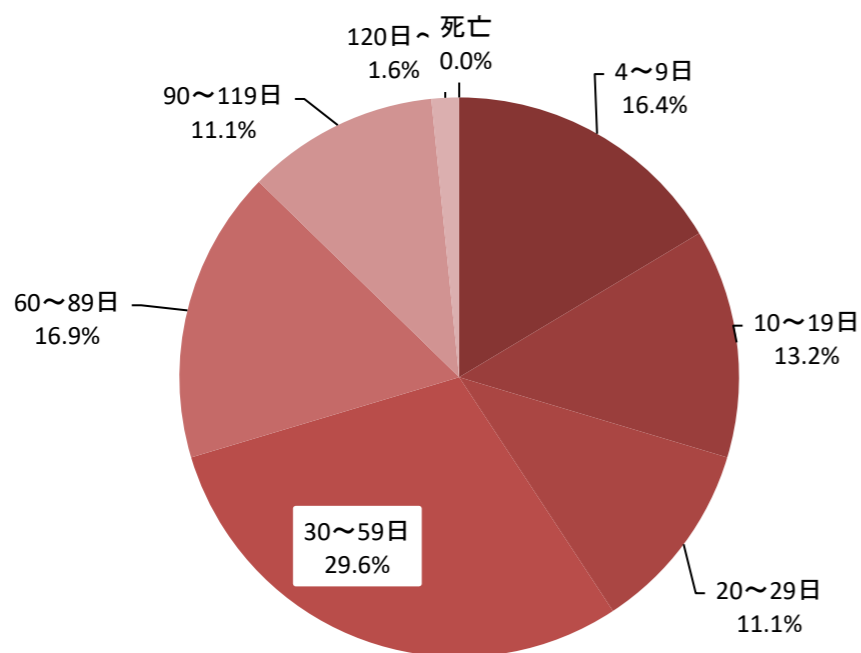
(図6) 年齢別発生状況



年齢	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
10-19歳	0	0.0%	1	0.5%
20-29歳	7	4.1%	7	3.7%
30-39歳	19	11.2%	16	8.5%
40-49歳	27	15.9%	30	15.9%
50-59歳	48	28.2%	51	27.0%
60-69歳	52	30.6%	58	30.7%
70歳以上	17	10.0%	26	13.8%
計	170	100.0%	189	100.0%

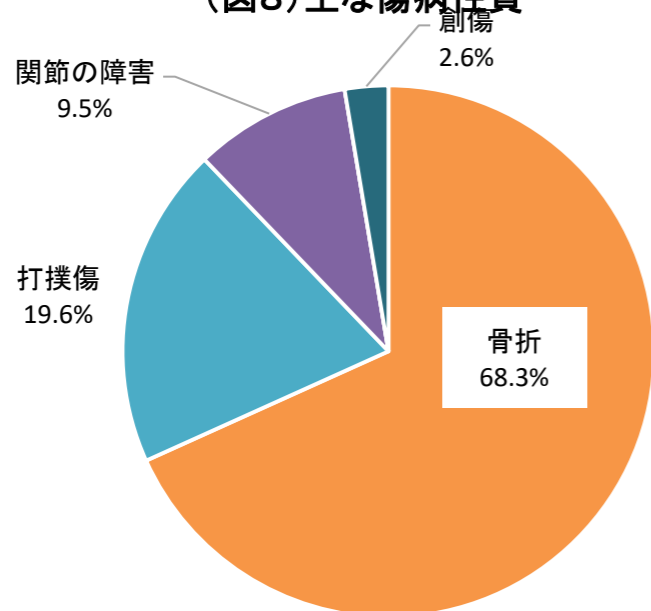


(図7)休業見込日数



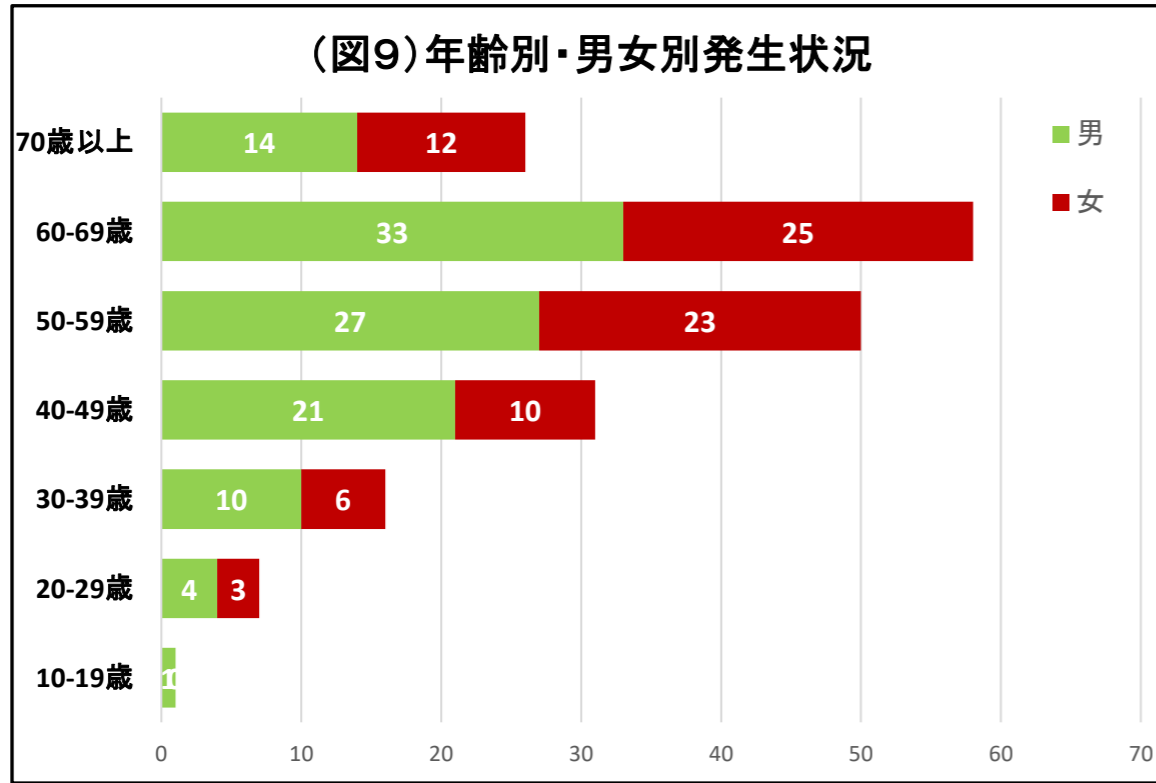
休業日数	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
4~9日	19	11.2%	31	16.4%
10~19日	19	11.2%	25	13.2%
20~29日	20	11.8%	21	11.1%
30~59日	56	32.9%	56	29.6%
60~89日	34	20.0%	32	16.9%
90~119日	22	12.9%	21	11.1%
120日~	0	0.0%	3	1.6%
死亡	0	0.0%	0	0.0%
計	170	100.0%	189	100.0%

(図8)主な傷病性質



傷病性質	令和3年度 (R3.11~R4.3)	割合	令和4年度 (R4.11~R5.3)	割合
骨折	129	75.9%	129	68.3%
打撲傷	20	11.8%	37	19.6%
関節の障害	17	10.0%	18	9.5%
むち打ち症	0	0.0%	0	0.0%
創傷	4	2.4%	5	2.6%
計	170	100.0%	189	100.0%

(図9) 年齢別・男女別発生状況



令和4年度(R4.11~R5.3)

年齢	男	割合	女	割合
10-19歳	1	0.9%	0	0.0%
20-29歳	4	3.6%	3	3.8%
30-39歳	10	9.1%	6	7.6%
40-49歳	21	19.1%	10	12.7%
50-59歳	27	24.5%	23	29.1%
60-69歳	33	30.0%	25	31.6%
70歳以上	14	12.7%	12	15.2%
計	110	100.0%	79	100.0%

令和4年度(R4.11~R5.3)

休業見込	19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
4~9日		1	3	5	8	9	5
10~19日		2	2	5	5	8	3
20~29日	1	2	2	6	3	4	3
30~59日			5	5	14	25	7
60日以上		2	4	10	20	12	8
計	1	7	16	31	50	58	26

(図10) 年齢別の休業見込み期間の長さ

